

駅をつくる、道をつくる、街をつくる

現場のチカラ



くまもとアートポリスプロジェクト作品「熊本駅東口駅前広場上屋」

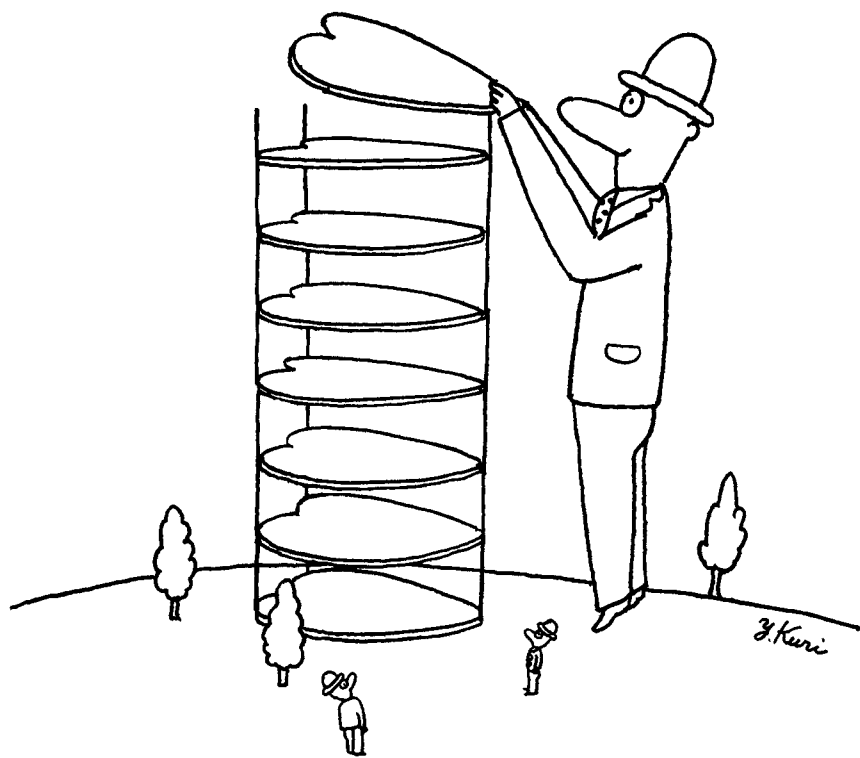


信用と技術の

鉄建

〒101-8366 東京都千代田区三崎町2-5-3 Tel.03-3221-2152

「
私たち
が築く
のは、
“こころ”
です。」



今、人は地球について考えています。
そして、自然のことを想っています。
地球があって、緑にあふれ、人々が生活する。
私たちはそんな基本的なことから考えたい。
私たちのふるさと・地球にやさしい技術の確立。
熊谷組の変わらぬテーマです。

— 人と地球の未来を考える —



熊谷組

本社 ● 〒162-8557 東京都新宿区津久戸町2-1 TEL.03-3260-2111
ホームページ URL http://www.kumagaigumi.co.jp

緑化

大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授 山田 宏之



写真1 木造草屋根住宅は夏涼しく、屋根に上ってくつろいだり植物を育てたりもできる

こついった熱射病は、暑い戸外にいる時だけではなく、室内で普通に生活している状態でも発症する。特に大都市においてはヒートアイランド現象

人に優しく快適

多様な都市緑化技術

緑化によるヒートアイランド対策は、主に植物体による日射の遮蔽と蒸散作用に伴う冷却によってもたらされる。古い構造の建物の場合、屋上緑化によって屋内への熱の侵入を防ぐという効果も期待できるが、新しい建物の場合は断熱性が高く、屋上緑化の有無はあまり関係がなくなる。建築と緑の関係性において最も進歩した形態は、写真1のように、最初から緑化された屋根を有する木造住宅を建てるという工法に現れている。この草屋根住宅は、夏、非常に涼しく、周囲の環境が極端に高温化していない限り、昔のような冷房なしの生活が実現できる可能性がある。

昔の手法は通じない

熱射病はさまざまな熱中症の中でも最も重篤な病状であり、適切な処置を迅速に行わないと死亡する危険性が高い、恐ろしい疾病である。熱によって中枢神経系の働きが阻害された状態になっているので、体温調整機能がうまく働かず、体温上昇が止まらなくなるのである。

植物使い環境改善

熱中症とヒートアイランド

今年の夏は全国的に電力供給に余裕がなく、節電への取り組みは全国民共通の課題となっている。最も電力需要が大きくなる夏の猛暑日におけるピークカットには冷房電力の削減が有効であるが、エアコンをストップして無理な我慢をすることは、熱中症を引き起こす可能性が高く勧められない。40歳以上の人は聞き覚えがあると思うが、熱中症のことを昔は日射病と呼んでいた。しかし、この原因は日射だけに限らないということで熱射病と呼称することに改められ、さらに、熱射病や熱失神などさまざまな高温障害を総称して熱中症という言葉が広く使われるようになってきたのである。

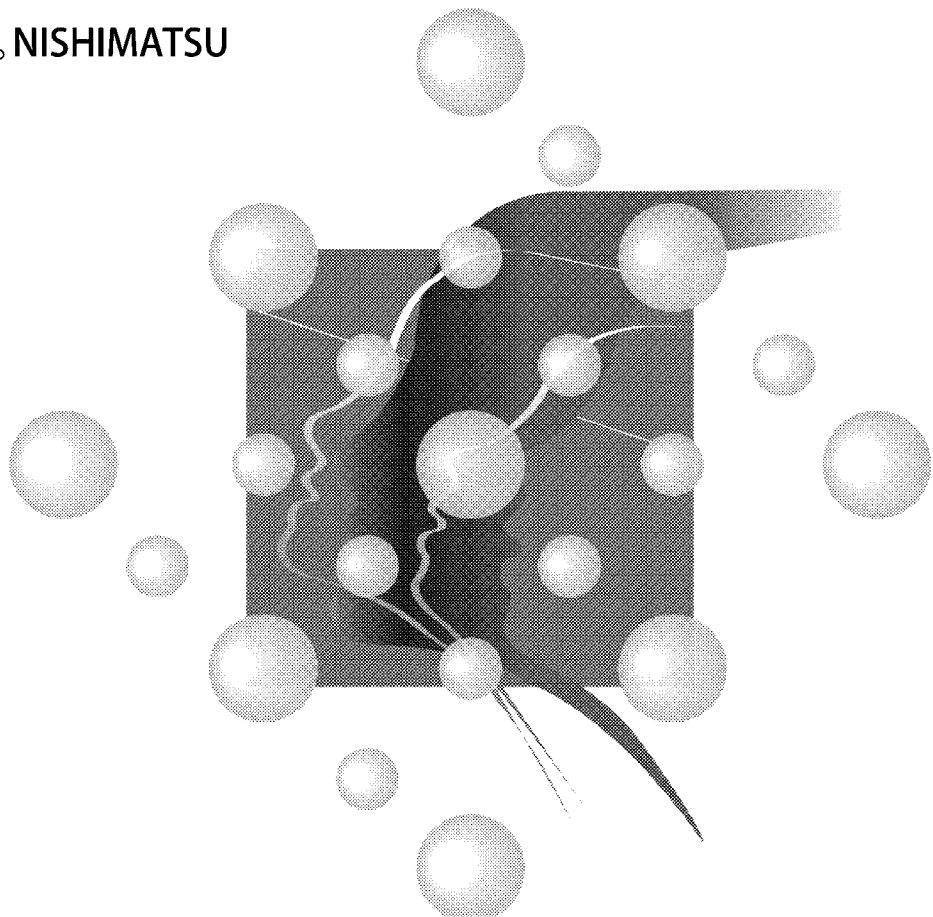
象と呼ばれる局所的な高温化が進行しているの、昔のように窓を開け、風通しを良くしてやり過ごす、という手法は通用しないのである。昔は冷房なんてなかったのだから、生活様式を変えれば電力を止めても何とかなる、といった論調の脱原発論を聞くことがあるが、これはとんでもない間違いである。大都市のヒートアイランドの真ん中で、昔のようなエアコン抜きでの生活をしていたのでは、夏に何百人も人が熱射病で死ぬような事態を招きかねない。

景観向上とリラックス

気象台で測る気温というものは、基本的に広い草地の上で測定されている。こついった場所の気温は当然ながら、都心の路面上よりも格段に低いのが普通である。したがって、都市生活者は気象台が発表した気温よりもより高温環境下での生活を余儀なくされることになる。多いということになる。夜間においても同様

で、新宿や渋谷のような繁華街では、昼間の蓄熱と建物からの排熱が相まって、最低気温が30度Cを上回るような状態になっている。こんな空気を室内に流し込んでみても全く涼感を得られないばかりか、生命の危険にもつながることになるので止めた方がいい。このようなヒートアイランド対策として、道路や屋根の高度反射化、ミスト散布などさまざまな対策が取られるようになってきており、その中の一つが、植物の蒸散作用を活用した対策。すなわち都市緑化ということになる。

自然との調和。NISHIMATSU



自然と人との架け橋。私たちは快適な空間を創造します。

自然と人との共生。快適な空間の創造。

これこそ人類全てが目標に掲げ、次世代に受け継がなければならないテーマです。私たち西松建設は、この精神を忘れず、これからも自然と技術が融合する環境づくりを目指します。



西松建設

〒105-8401 東京都港区虎ノ門1丁目20番10号
電話 03(3502)0232
http://www.nishimatsu.co.jp/

防災のトビシマ

豊富な経験と技術力を生かし、
安全で安心な社会づくりに貢献します。

本社 / 神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1
〒213-0012 TEL.044(829)6750
http://www.tobishima.co.jp